

新年度会で深まる交流

―5月例会を開催―

5月22日、5月例会「新年度会 繋ぐ絆」希望ある加古川の未来へくを実施しました。

直前で新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられたこともあり、市長をはじめ多数のご来賓、OB・OGをお招きすることができ、総勢135名の参加でした。

1テーブルに8人掛けて、パードイションの設置もなく久しぶりに顔の見える例会を行うことができ、名刺交換や歓談時にはたくさん交流が生まれ、笑顔が見られたことが大変嬉しく思いました。

令和4年度活動報告のプロモーションビデオから始まり、舞台上で令和4年度の岡本会長から令和5年度の竹内会長へ会長だけが持つ金バッジの引き継ぎの様子を披露し、前年度から今年度へバトンを繋ぎました。

役員紹介では令和5年度理事を竹内会長から紹介し、また委員会紹介の時間では6つの委員会が

各々趣向を凝らしてPRを行いました。

歓談時に設けたYEGの歴史や加古川にちなんだクイズでは、超簡単な問題から、知って自慢したくなるような問題を出題し、テーブルごとに答えを相談して回答してもらったことと深まっています。

今年度の所信である「Just for someone」誰かの為に「のスローガンを胸に、YEGメンバー一丸となり事業に取り組んで参ります。

最後になりましたが、皆様のお力添えの元、令和5年度竹内一真会長の新体制をお披露目できたことを改めて御礼申し上げます。

(地域交流委員会 大橋 裕子)



テーブルごとのクイズで大盛り上がり



各委員会の趣向を凝らしたPR

全力で動き、応援し、笑った運動会

―6月例会を開催―

6月3日、6月例会「絆を深めて目指せ全笑！気合いだ×3」と題した運動会を開催しました。この運動会は、本年度第20回を迎える商工祭加古川楽市に向け、メンバー同士が絆を深める為に企画されており、朝から晴天に恵まれ、会場は笑い声と歓声でいっぱいでした。

企画は、楽市運営委員会が担当し、各委員会のチームごとに分かれて様々な競技に挑みました。

最初の競技は5人6脚の競走で、各チームが声を掛け合い、息を合わせ競技を楽しみました。その様子を見ているだけで、メンバー同士の連携や協力の大切さを感じました。競技終了後は、笑顔で順位関係なく、お互いを労い合っている姿が印象的でした。

さらに、次の競技のジャンボバレーボールや玉入れ競争、リレーでは、メンバーたちが、限界に挑戦し、敵味方関係なく声援の言葉が飛び交い、勝敗よりも楽しさや

協力が重要視される雰囲気が出ていました。

この運動会では競技の中に、加古川楽市、青年部に関するクイズを出題し、加古川楽市や青年部の知識などを、競技をしながら、共有することができました。

また例会終了後は、銭湯で懇親会を行いました。お風呂に入りながら、感想や喜びを分かち合い、会話を楽しむことで、メンバー同士が自然と距離を縮めることができました。

忙しい日常生活から離れて、参加者全員が子供のように無邪気な気持ちで競技に向かっている姿を見ることができました。

全力で取り組むことで、メンバーの団結、絆はより深まり、一体感と協力の大切さを再確認しました。今後の青年部の活動を盛り上げる一助となり、心温まる一日でした。

(楽市運営委員会 窪田 健二)



巨大バトンを抱えてリレー勝負